

## ◆ 盛岡市の概要

盛岡市は、岩手県のほぼ中央部に位置する面積886.47km<sup>2</sup>、人口約30万人の中核市です。近代的建築物と清流北上川、その背後にそびえる雄大な岩手山が調和した風景に象徴されるように、岩手県の県都として、さらには北東北の拠点都市として発展を続ける一方、優れた自然環境が大切に守られているまちです。また、南部盛岡藩の城下町として400年を超える歴史を背景に育まれた文化や景観が多数継承され、環境省の「残したい日本の音風景100選」に認定された「チャグチャグ馬コ」や盛岡の夏の風物詩「盛岡さんさ踊り」に代表される伝統行事、石川啄木や宮沢賢治をはじめとする先人たちが愛したまち並みなどが、現在でも多くの市民に親しまれています。

このように都市と自然、歴史がほどよく



盛岡駅前の風景

# 次世代 エネルギーパークに いこう! in 盛岡市

経済産業省資源エネルギー庁では、再生可能エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーに関する理解の増進を図ることを目的に、2007年より、次世代エネルギー設備や体験施設などを整備した「次世代エネルギーパーク」の認定を進め、現在、全国で63施設が設置・認定されています。

「次世代エネルギーパークにいこう!」(不定期掲載)では、東北および新潟県にある12施設の中から、毎回、一つの施設をピックアップして、その地域の特色や施設の概要、取り組みなどを紹介します。今回は、岩手県盛岡市の「もりおかエネルギーパーク」について、盛岡市環境部環境企画課環境みらい係に説明していただきました。

調和した盛岡のまちは、市民の暮らしに安らぎと快適さをもたらし、また、訪れる人々を温かくもてなしてきました。盛岡市では、まちのアイデンティティともいえるこの個性豊かで良好な環境を将来世代に継承していくため、「水と緑のまち“もりおか”を未来につなぐ」を環境基本計画のスローガンに掲げ、各種環境施策に取り組んでいます。

## ◆盛岡市における再生可能エネルギーの利用

盛岡市では、環境施策の一つとして各種再生可能エネルギーの利用を進めています。恵まれた自然特性や市街地の社会特性を活かし、特に次の分野における利用を進めてきました。

### ①太陽エネルギー

全国並みの日照時間があり、地形的に日射がさえぎられる場所も少ないことから、市の施設や未利用市有地への太陽光発電設備の導入を進めています。また、民間事業者によるメガソーラー事業も行われています。

### ②木質バイオマスエネルギー

市域の約7割が森林であること、寒冷地で暖房需要が多いことから、公共施設へのペレットストーブやチップボイラー等の率先導入を進めています。

### ③廃棄物エネルギー

市のごみ焼却施設では、発電、施設内の空調や給湯、余熱利用施設への温水供給等に、可燃ごみの焼却熱を利用しています。

### ④水力エネルギー

市内を流れる北上川の本流や支流に設置されたダムの豊富な貯留水等を活用し、昭和30年代から水力発電所による安定的な電力供給が行われています。

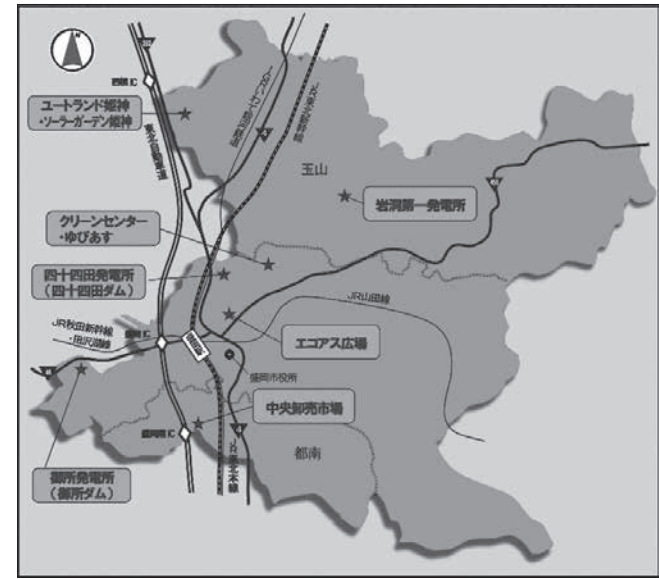
## ◆もりおかエネルギーパークの概要

もりおかエネルギーパークは、市内の再生可能エネルギー関連施設のうち、規模や見学受入体制の有無などの観点から特に高い環境啓発効果が期待される7施設で構成する広域連携型のエネルギーパークです。2015年10月30日に経済産業省より「次世代エネルギーパーク」の認定を受け、再生可能エネルギーへの理解促進、盛岡市の良好な環境の継承、地域活性化に寄与することを目指し、国土交通省東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所、岩手県企業局、民間事業者の参加・協力をいただきながら一体的な情報発信や連携した環境啓発事業を進めています。もりおかエネルギーパーク構成施設の周辺には観光地や宿泊施



設、レジャー施設等も充実しており、それら観光資源と組み合わせることで、楽しく再生可能エネルギーについて学ぶことができますようになっていきます。

## もりおかエネルギーパーク



詳しくはこちらから!

盛岡市環境部ウェブサイト ecoもりおか はこちらから

ecoもりおか  <http://www.eco-morioka.jp/>

### ◆もりおかエネルギーパークの構成施設について

#### ①エコアス広場

「エコアス広場」は、環境学習の場として開放されている広場です。約2 haの広さがあり、三つのエリアに分けることができます。一つ目は、下水処理の際に発生する汚泥から作られた堆肥で花を育て、循環型社会の形成について学ぶ「いこいの花畑」、二つ目は、太陽光や風力を利用した照明等から再生可能エネルギーについて学ぶ「ひかりのガーデン」、三つ目は、池に集まる野鳥や昆虫の観察を通して自然環境の保全について学ぶ「観察の木陰」で、2014年4月の供用開始以来、多くの市民に親しまれてきました。施設の照明などで必要な電力は全て太陽光発電と風力発電で賄っているため、敷地内に電線がないことが特徴です。隣接する約54 ha



エコアス広場



盛岡市中央卸売市場

の「高松公園」は、「日本さくらの名所100選」として、また白鳥の飛来地として有名です。

## 2 盛岡市中央卸売市場

盛岡市の食を支える中央卸売市場では、敷地内施設の屋根や日当たりの良い緑地帯を活用し、最大出力1,580kWの太陽光発電事業を行っています。太陽光発電事業は再生可能エネルギーの利用促進だけでなく、売電収入による市場の経営安定化にも寄与しています。近くにはキャンプやバーベキューが楽しめる森林公園「つどいの森」があります。

## 3 ユートランド姫神・ソーラーガーデン姫神

農村資源を活用した地域活性化に取り組み温泉宿泊施設「ユートランド姫神」では、太陽光発電や木質チップボイラー等を導入し、館内での再生可能エネルギー利用を進めてきました。木質チップボイラーは水分含量の多い木質チップを燃やすことができる「いわて型チップボイラー」を採用し、使用する木質チップは近隣の

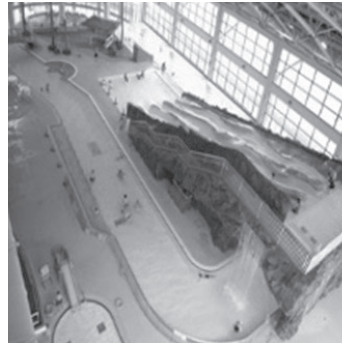
木材店から出る木片や端材を利用しています。隣接する「ソーラーガーデン姫神」は、民間事業者が運営する最大出力1,780kWの大規模太陽光発電所です。周辺には岩手山、姫神山がそびえるほか、湧水地などもあり、自然環境に大変恵まれた地域となっています。また、少し足を伸ばすと、石川啄木ゆかりの地として知られる渋民地域があり、啄木記念館や、啄木が教鞭をとった旧渋民小学校などで、啄木を偲ぶことができます。

## 4 クリーンセンター・ゆぴあす

一般廃棄物焼却施設である「クリーンセンター」では、焼却時に発生する熱を利用して蒸気タービン発電機(定格出力1,570kW)による発電を行っているほか、余熱利用設備で館内の冷暖房や給湯を行っています。隣接する健康増進センターの「ゆぴあす」では、クリーンセンターからの供給熱を温水プールや浴場、館内での冷暖房に利用しています。



「ソーラーガーデン姫神」の見学の様子



「ゆびあす」の温水プール

### 5 岩洞第一発電所

岩洞第一発電所は、北上川水系丹藤川に建設された岩洞ダムの貯留水を利用した水力発電所(最大出力41,000kW)で、1960年に運転を開始しました。発電設備が地下約300mに設置されている日本有数の地下式発電所です。発電に使用した水は下流の第二発電所(最大出力8,600kW)に送られますが、灌漑期間中は発電用水としてはなく、灌漑用水として周辺地区に供給されます。岩洞第一発電所の近くには桜の名所「サクラパーク姫神」があり、春には一万本のオオヤマザクラが咲き誇る観光地となっています。

### 6 四十四田発電所

四十四田発電所は、北上川本流に建設された四十四田ダムの貯留水を利用した水力発電所(最大出力15,100kW)で、1967年に運転を開始しました。桜や紅



岩洞第一発電所の見学の様子

葉の名所として、また、完走艇数(814艇)、完走者数(1,628人)がギネス世界記録に認定された「盛岡・北上川ゴムボート川下り大会」のスタート地点として市民に親しまれています。

### 7 御所発電所

御所発電所は、北上川水系雫石川に建設された御所ダムの貯留水を利用した水力発電所(最大出力13,000kW)で、1981年に運転を開始しました。周辺には盛岡の奥座敷と呼ばれる「つなぎ温泉郷」や、盛岡地域の地場産業に見て触れることのできる施設「盛岡手づくり村」、各種レクリエーションが楽しめる「御所湖広域公園」、日本最大の民間農場として有名な「小岩井農場」等、観光地が充実しています。



四十四田発電所の見学の様子

## ◆ もりおかエネルギーパークを活用した取り組み

盛岡市では、もりおかエネルギーパークを活用した次のような取り組みを行い、再生可能エネ



環境学習講座の様子

ルギーへの理解促進と良好な環境の継承を図るとともに、地域活性化に寄与することを目指しています。

#### ① 情報発信

もりおかエネルギーパークを周知するため、パンフレット、ポスター、市庁舎に設置しているデジタルサイネージや盛岡市環境部のホームページ「eco もりおか」(<http://www.eco-morioka.jp/>)を活用して情報発信をしています。

#### ② 集客施設の活用

エネルギーパークの構成施設であるユートランド姫神は温泉宿泊施設、ゆびあすは大浴場、温水プール、体育館を備えた施設です。また、各構成施設の周辺には集客力を有する施設等が充実しています。これらを活用することにより、再生可能エネルギーに対する関心を持つていただきたい方への効果的な啓発や、観光客数、施設利用者数の増加が期待されます。

#### ③ 環境学習講座の開催

盛岡市では、市民の皆さんに環境に対する意識を高めてもらうため、エネルギーパークの構成施設を主会場とした環境学習講座を年20回程度開催しています。幼児からご年配の方まで多くの方に参加いただいております。幅広い世代の方への環境啓発の機会となります。

#### ④ 一体的な見学のための工夫

市内に点在するもりおかエネルギーパークの構成施設を、周辺の観光施設と組み合わせながら一体的に見て回ることができるような周遊モデルコースを模索しています。また、2016年度は環境学習講座の一環として、エネルギーパークを巡るバスツアーを実施しました。7月に実施した第1回目のツアーでは、よく晴れた夏空の下、美しい景色を楽しみながらエコアス広場、四十四田発電所、ユートランド姫神・ソーラーガーデン姫神、盛岡市クリーンセンターを巡りました。10月に実施した第2回目のツアーは、四十四田発電所、ユートランド姫神・ソーラーガーデン姫神の見学に、自然散策と地域振興イベントを楽しむ時間も加え、再生可能エネルギー、秋の景色、地元グルメと内容盛りだくさんのツアーになりました。2017年度以降も、楽しく再生可能エネルギーへの理解を深めることのできるツアーを実施する予定です。

# 東北・新潟

紹介

紹介

のしろ次世代エネルギーパーク

男鹿市次世代  
エネルギーパーク

あきた次世代  
エネルギーパーク

にかほエネルギーパーク

庄内町次世代  
エネルギーパーク

尾花沢市次世代  
エネルギーパーク

新潟県次世代  
エネルギーパーク

福島県次世代  
エネルギーパーク

六ヶ所村次世代  
エネルギーパーク

もりおか  
エネルギー  
パーク

宮城県次世代  
エネルギーパーク

福島市次世代  
エネルギーパーク

経済産業省では、ホームページやフェイスブックなどさまざまな媒体による情報発信などで「エネパ」の利用促進を支援しています。

**エネパホームページ** ▶ [http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saiene/park/index.html](http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/park/index.html)

**フェイスブックページ** ▶ <https://www.facebook.com/meti.saiene>

**エネパガイド2016** ▶ [http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saiene/park/enepa2016.pdf](http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/park/enepa2016.pdf)

## ◆今後の展望

盛岡市は現在、民間事業者と共同で、温泉熱を活用したバイナリー発電設備やトマトハウス、温泉たまご製造施設などから構成される地熱利用施設の整備を進めています。これは経済産業省の「地熱開発理解促進関連連事業支援補助金」を受けて進められており、バイナリー発電は2017年4月の発電開始を予定しています。また、民間事業者による出力18,000kWの大規模風力発電所の建設も進められており、2019年度発電開始を予定しています。これらの施設について、エネルギーパークの構成施設への追加を検討しているところです。このように盛岡市では、新しい分野の再生可能エネルギー施設の整備も進んでいます。良好な環境を将来世代に継承するため、今後ももりおかエネルギーパークを活用した周知啓発を継続してまいります。